

氏名	齋 藤 崇
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2452号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学(二)専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Biliary Bacteria in Living Related Liver Transplant Recipients: Microbiology and Rapid Detection System Using Flow Cytometry (生体肝移植後患者における細菌胆汁:分離菌とフローサイトメトリ ーを用いた迅速検査法)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 白鳥 康史 教授 公文 裕巳

#### 学位論文内容の要旨

生体肝移植後患者において胆管炎は重要な合併症であるので、胆汁中の細菌の検出は患者の治療に必要である。我々はフローサイトメトリー(FCM)を使用し胆汁中の細菌を検出するスクリーニング方法を開発した。2001年7月から9月までに生体肝移植後に胆道ドレナージチューブが挿入してある50人の患者からの278検体を検討した。278検体のうち、165検体が培養陽性であった。分離菌は *Enterococcus* 属、*Pseudomonas* 属、*Staphylococcus* 属、*Klebsiella* 属、*Candida* 属が多かった。本来のFCMでは胆汁中の細菌を十分には検出しえなかったので、我々は粒子の分布から最も適切なゲート及びカットオフ値を設定した。総粒子数に対する細菌粒子数の割合が3%のカットオフ値が培養結果と最も好ましい関係にあった。FCMの感度は93.9%、特異度は81.4%、陽性的中率は88.1%、陰性的中率は90.2%、偽陽性率は7.6%、偽陰性率は3.6%、一致率は88.9%であった。FCMは臨床検査の分野で生体肝移植後患者における胆汁中の細菌を迅速に検出するスクリーニング装置として有効である。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、胆汁中の細菌をフローサイトメトリーを使用して検出する方法を開発したものである。総粒子数に対する細菌粒子数の割合が3%の場合をカットオフ値とすると、特異性や感度などで培養法と類似の結果が得られるので本法が迅速検出法として有効であることを示した。

よって、本研究は価値ある研究であると認め、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると判定した。